

2021年12月6日

各 位

会 社 名 株式会社ナガワ
(証券コード 9663 東証第一部)
代 表 者 名 代表取締役社長 高 橋 修
問 合 せ 先 常務取締役管理本部長 新 村 亮
T E L 03-5288-8666
U R L www.nagawa.co.jp

中期経営計画策定に関するお知らせ

— 2024年3月期 連結売上高計画 400億円、連結営業利益計画 60億円 —

当社は、2021年12月6日開催の当社取締役会において、2024年3月期を最終年度とする中期経営計画「Sustainable Nagawa Action」を決議しましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画策定の概要

- (1) 当社は、創業50周年を経過し、次の50年の進むべき将来像を明確に描き、「グローバル軽量鉄骨ゼネコンとして世界に通用する企業グループ」を目標としております。
- (2) 中期経営計画の要旨
今期から3年間の中期経営計画においては、最終年度の目標である連結売上高400億円および連結営業利益60億円をめざすための基本戦略として、時代および環境にあった最先端の商材やサービスを、当社の強みである自社一貫体制ならびにダイレクトマーケティング力で、すべてのお客様にご提案し、「グローバル軽量鉄骨ゼネコン」への成長を加速化させることを掲げております。

2. 収益計画

中期経営計画の数値目標は以下のとおりです。

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
売上高	31,000百万円	35,000百万円	40,000百万円
営業利益	4,600百万円	5,200百万円	6,000百万円
経常利益	4,800百万円	5,400百万円	6,200百万円
当期純利益	3,300百万円	3,700百万円	4,000百万円

詳細につきましては、別添資料をご参照ください。

以 上



2022 2024

ナガワグループ中期経営計画

Sustainable Nagawa Action

2021年12月6日
株式会社ナガワ

将来情報に関するご注意

本資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また本資料には、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

もくじ

- 1.現状認識と経営計画の考え方
- 2.基本方針
- 3.定量計画
- 4.セグメント戦略

2022  2024

ナガワグループ中期経営計画

現状認識と経営計画の考え方

2022  2024

ナガワグループを取り巻く外部環境と課題認識

外部環境

新型コロナウイルス感染症の蔓延による経済活動への影響

SDGS・ESGに対する意識の高まり

世界情勢における不確実性の高まり

デジタル化の急加速

課題認識

現状を好機ととらえた施策

マーケットイン志向による顧客ニーズに対応したビジネスモデルの変革

災害対応型企業の確立

ナガワグループ経営計画の考え方

2016年に創業50年を迎え、次の50年へ歩み始めております。

創業100年を見据えて「進むべき将来像」を明確に描き、その実現のためのスタートの3年間として実施する業績と施策を、

「中期経営計画 – Sustainable Nagawa Action –」として策定しました。



ナガワグループ中期経営計画

基本方針

2022  2024

Sustainable Nagawa Action – 6つの基本方針 + α



5R事業の深化



軽量鉄骨建築の拡大による
新しい投資スタイルの確立



全国での自社生産体制確立



東南アジア（タイ国）市場の展開強化



就学補助による「プロ集団」の育成



M&Aによるコアビジネスの拡大

デジタル（AI・IoT）活用による
さらなる価値の創造

マーケットインの追求

Sustainable Nagawa Action- – ESG

ナガワグループではかねてより「誠実な経営を通してお客様と地域社会から信頼される企業創造」を目指すことを企業理念として掲げています。これは昨今求められている「持続可能な開発目標（SDGs）」の考え方とも合致しており、ナガワグループの中長期的な成長を図るとともに、社会の一員として持続可能な社会の実現を目指します。

E

–環境–
Environment

コア事業の普及拡大による脱炭素

5R事業の深化と継続推進

S

–社会–
Social

災害時の応急仮設住宅供給

奨学事業・研究室助成事業の推進

G

–ガバナンス–
Governance

社外役員比率50%維持

指名報酬委員会設置による経営の透明性確保

Sustainable Nagawa Action- – SDGs

ナガワグループは、国際社会の共通目標として掲げられた「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals:SDGs）」の達成に、事業を通じて貢献していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



既存事業の拡大

5Rを推進し、当社事業を広く普及させる



対処すべき課題

海外展開を加速させ、投資を拡大していく



サステナビリティに関する具体的な取り組みについては
当社HPをご覧ください



ナガワグループ中期経営計画

定量計画

2022  2024

Sustainable Nagawa Action — 定量計画

経営計画 < 2024年度 >

売上高	400 億円
-----	--------

営業利益	60 億円
------	-------

営業利益率	15 %
-------	------

経常利益	62 億円
------	-------

当期純利益	40 億円
-------	-------

レンタル保有	120,000 棟
--------	-----------

ROIC	8.0 %
------	-------

投資計画 < 2022-2024年度 >

設備投資	150 億円
------	--------

研究開発費	50 億円
-------	-------

※成長・機能投資含む

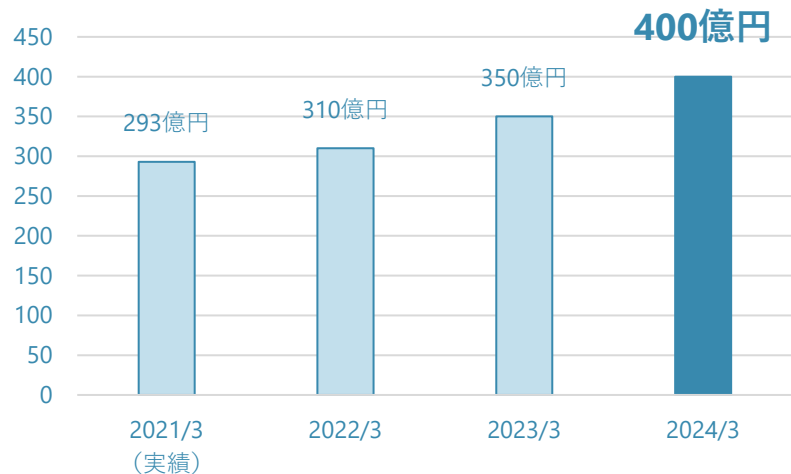
財務指標

自己資本	600 億円
------	--------

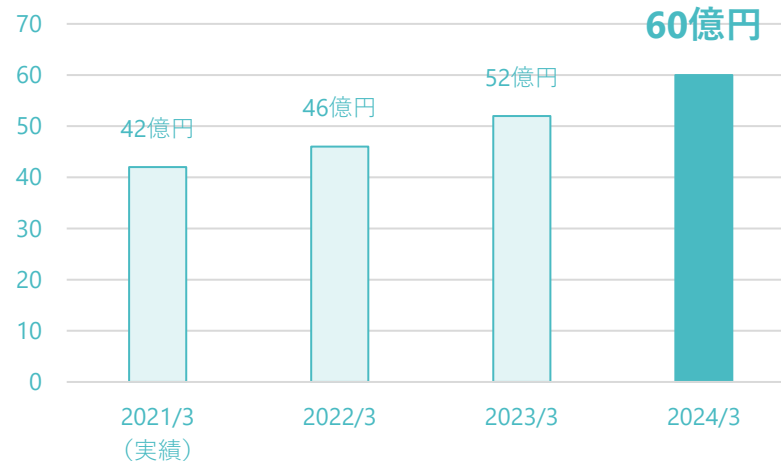
総還元性向	30 %
-------	------

Sustainable Nagawa Action 一 年度別定量計画[PL]

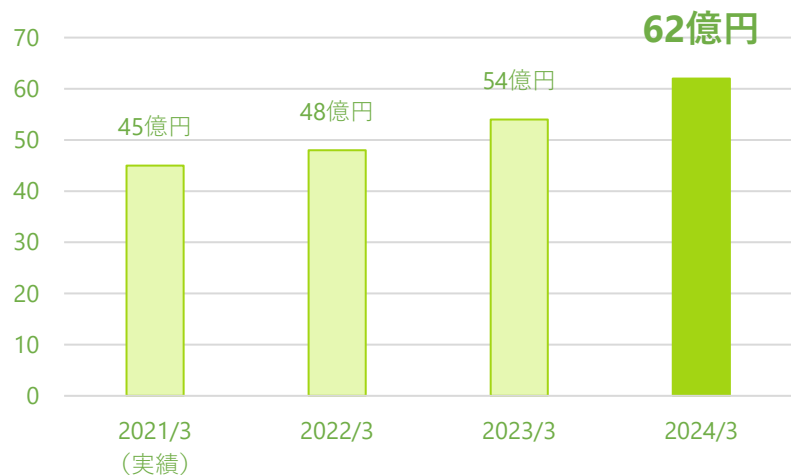
売上高



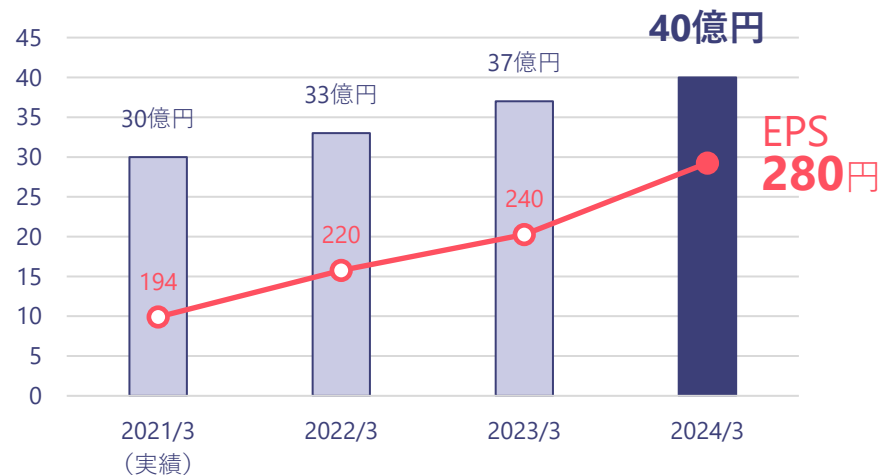
営業利益



経常利益

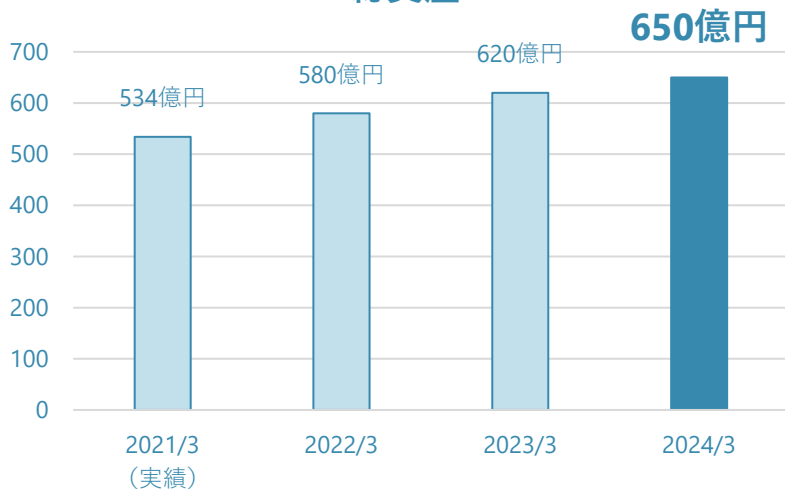


当期純利益

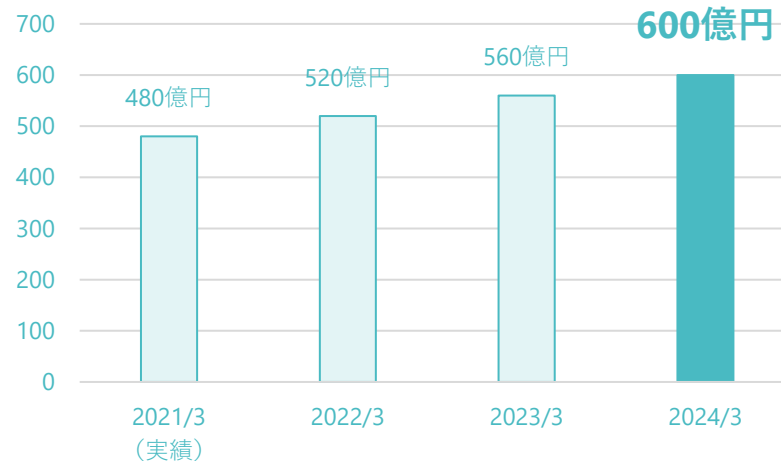


Sustainable Nagawa Action 一 年度別定量計画[BS]

総資産

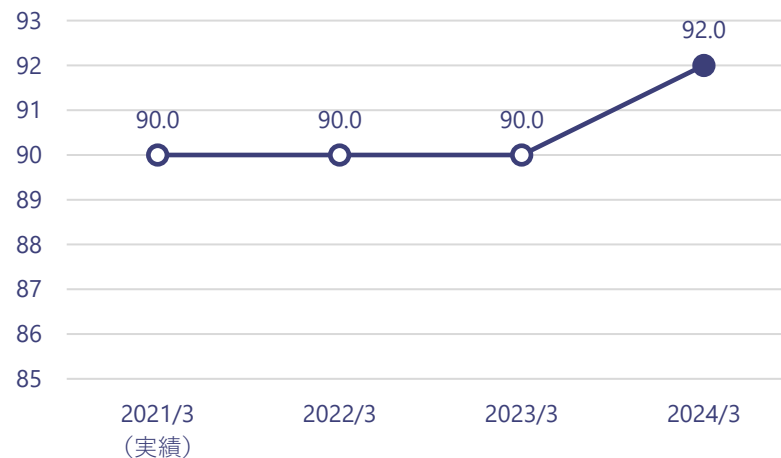


純資産



2022  2024
Sustainable Nagawa Action

自己資本比率



ナガワグループ中期経営計画

セグメント戦略

2022  2024

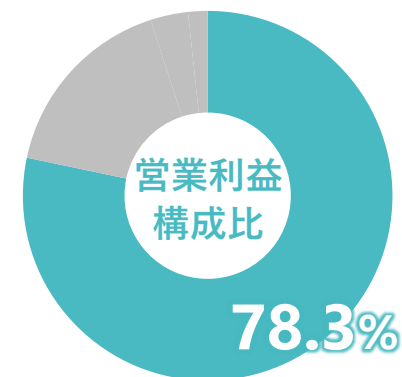
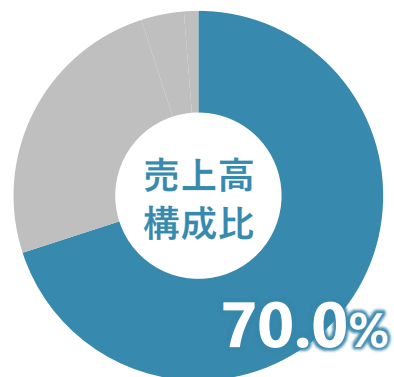
ユニットハウス事業

経営計画<2024年度>

売上高 280 億円

営業利益 47 億円

レンタル保有 120,000 棟



5R事業の深化（循環型ビジネスの拡大）

CO2排出量の削減



全国での自社生産体制の確立

2022年 岡山新工場稼働開始
→全国自社対応へ

災害対応能力の強化

地震被害・豪雨被害等での社会貢献機能強化
各自治体との連携強化

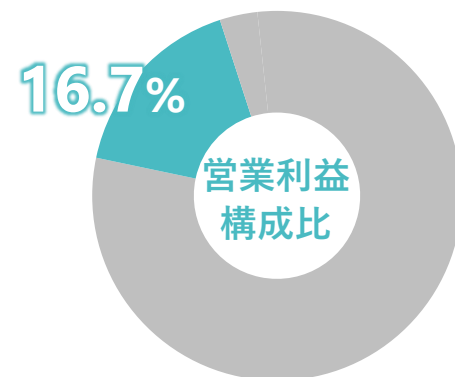
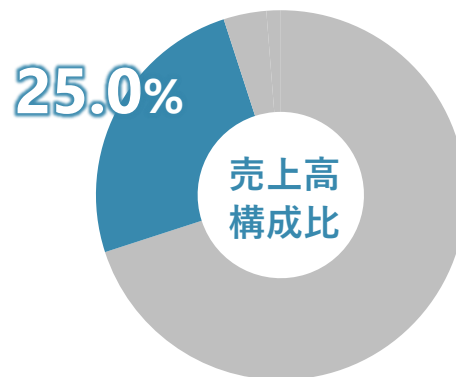
モジュール・システム建築事業

経営計画<2024年度>

売上高 100 億円

営業利益 10 億円

年間受注額 120 億円



軽量鉄骨建築の普及・拡大

企業の投資スタイルを提案
(短納期・低コスト・短償却)



VR・3Dによる積算作図システムの導入

省力化と顧客優位性の確保



効率化とコスト削減のための「協業」

各地区の建設会社との施工協力体制の確立



M&A促進によるシナジーの創出

「1+1」以上の価値を創出

建設機械レンタル事業

建設機械レンタル事業

経営計画<2024年度>

売上高 15 億円

営業利益 2 億円



北海道南部の市場占有率維持

マーケットインによる機会損失回避



1台ごとの機種採算性の徹底分析

設備投資の費用対効果と成果の創出



技術者育成のための就学補助

資格取得報奨金と就学補助金の強化

海外事業

経営計画<2024年度>

売上高 5 億円

営業利益 1 億円



コロナ後の反動需要の取り込み

潜在需要 + 反動需要による拡大



事業早期黒字化と事業体制の確保

事業収益性の改善による
海外単独での事業化確立



海外企業M&Aによる規模拡大

地盤確立による周辺国への展開の検討



将来情報に関するご注意

本資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また本資料には、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。



決算短信や、その他の資料は弊社HPにてご確認ください。

株式会社ナガワ | IRライブラリー

<https://group.nagawa.co.jp/ir/library.html>